



もっと気軽に利用してみませんか？

チャリティショップ 100%活用術

イギリスでは、どんな小さな町でも一軒は見つけられるというほど、あちこちにあるチャリティショップ。物を安く買えるというだけでなく、大掃除の後や引っ越しのときに不要品（まだ使えるけれど、自分には必要がない）を処分するのにも便利なお店です。でも、まだ一度もチャリティショップを利用したことがない、という読者の方もいるかもしれませんね。そこで今回は、イギリス人たちが普段気軽に利用しているチャリティショップの、上手な活用法をお伝えします。

Text: Mami McGuinness



チャリティショップって いったいどんなお店なの？

チャリティショップとは、慈善事業を行う組織・団体によって運営されており、主に人々から寄付された中古品（衣服、食器、家具、本、ピデオ等）を販売して、その売り上げを慈善事業に活用する、ということを行っている場所です。もちろん「ショップ」と呼ばれている通り、ショーウィンドウはきれいにディスプレイされ、商品のことを尋ねればそれに答えてくれる店員さんがいて、洋服の試着などもでき、一般のお店と何ら変わることはありません。ただ少し違うことといえば、店員さんの多くがボランティアだということでしょうか。マネージャーは有給で、それ以外の労働者はボランティアというところもあれ

いるイギリス人たちに、チャリティショップを利用する理由を尋ねたところ、洋服や本などが、手軽に安く買えるという点が最大のポイントではあるものの、それと同時に、買い物をした代金がチャリティに役立っていることが「feel good」になるから利用することも多いとのこと。また、お小遣いがありなく、でもファッションにこだわりたい学生たちの中には、チャリティショップで見つけた、ハイストリートにあるチェーン店では売っていないような、ワインテークローズと呼ばれるタイプの洋服を身につけるのは「cool」。だから、チャリティショップが好き、という人もいました。

イギリス初の チャリティショップ

さて、現在は、イギリス全土で約6500軒、ロンドン市内だけでも数百軒はあるといわれるチャリティショップ。19世紀にはすでに、救世軍が中古の衣服を貧しい人々に安く販売する、ということを行っていました。それが、人々の寄付による物品を集めてそれを販売し、その売り上げを慈善事業に役立てるといった、現在のよつな形でもっとも古いチャリティショップは、1948年、Oxfamによって始められました。

さて、現在、イギリス全土で約6500軒、ロンドン市内だけでも数百軒はあるといわれるチャリティショップ。19世紀にはすでに、救世軍が中古の衣服を貧しい人々に安く販売する、ということを行っていました。それが、人々の寄付による物品を集めてそれを販売し、その売り上げを慈善事業に役立てるといった、現在のよつな形でもっとも古いチャリティショップは、1948年、Oxfamによって始められました。

さて、ずっと以前は、チャリティショップはあまり立地のよくないところにあることが多かったのですが、現在では、町のハイストリートにもたくさん見かけることができます。そしてそれは、人々に、チャリティのこと、あるいはそういった活動を行っているチャリティ組織について知ってもらうという、宣伝の役目も果たしているのです。たまたま洋服や本を買おうと思って入ったお店のポスターやリーフレットを見て、初めて自分がチャリティショップだと知り、その売り上げがチャリティに使われることを知った、という読者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

チャリティショップで買い物をしているイギリス人たちに、チャリティショップを利用する理由を尋ねたところ、洋服や本などが、手軽に安く買えるという点が最大のポイントではあるものの、それと同時に、買い物をした代金がチャリティに役立っていることが「feel good」になるから利用することも多いとのこと。また、お小遣いがありなく、でもファッションにこだわりたい学生たちの中には、チャリティショップで見つけた、ハイストリートにあるチェーン店では売っていないような、ワインテークローズと呼ばれるタイプの洋服を身につけるのは「cool」。だから、チャリティショップが好き、という人もいました。

チャリティショップで買い物をしているイギリス人たちに、チャリティショップを利用する理由を尋ねたところ、洋服や本などが、手軽に安く買えるという点が最大のポイントではあるものの、それと同時に、買い物をした代金がチャリティに役立っていることが「feel good」になるから利用することも多いとのこと。また、お小遣いがありなく、でもファッションにこだわりたい学生たちの中には、チャリティショップで見つけた、ハイストリートにあるチェーン店では売っていないような、ワインテークローズと呼ばれるタイプの洋服を身につけるのは「cool」。だから、チャリティショップが好き、という人もいました。



COOKERY BOOK

せっかくイギリスに住んでいるのですから、イギリスらしい料理を覚えたいもの。右：日本のウスターソースの原型(?)ともいえるウスターシャーソースを使ったレシピ本。1.99ポンド、左：イギリスの小林カツ代(?)、DELIA SMITHの『HOW TO COOK BOOK ONE』3.99ポンド(どちらも Oxfam Books&Music)



ちょっとレトロな ガラス製品あれこれ

アンティークマーケットなどでも取引されている、カットグラス製品やプレスガラス等は、チャリティショップのBric a Brac コーナーなどでよくみかけられます。植物柄がきれいな左のデザート皿は2つセットで2ポンド(Oxfam)、右、フラワーベース2ポンド(CANCER RESERCH UK)、手前のミルクジャグ1.2ポンド(British Red Cross Shop)

近所のチャリティーショップを探そう!

先ほども触れたように、ロンドン市内にある多くのチャリティショップは、街のハイストリートなどで見かけることができますが、自分の住んでいる近くには見当たらない...という方は、インターネットで検索してみるのも一つの方法です。ASSOCIATION CHARITY SHOPS という協会のウェブサイトから、ショップ検索のページを開き、あなたの住んでいる町の名前、またはポストコードを入力すると、最寄りのチャリティショップを表示してくれます。

● ccgi.charityshops.plus.com/locator.php

また、Oxfam や CANCER RESERCH UK などのウェブサイトでも、最寄りの店舗を探すことが可能です。

● Oxfam ウェブサイト: www.multimap.com

● CANCER RESERCH UK ウェブサイト: www.cancerresearchuk.org

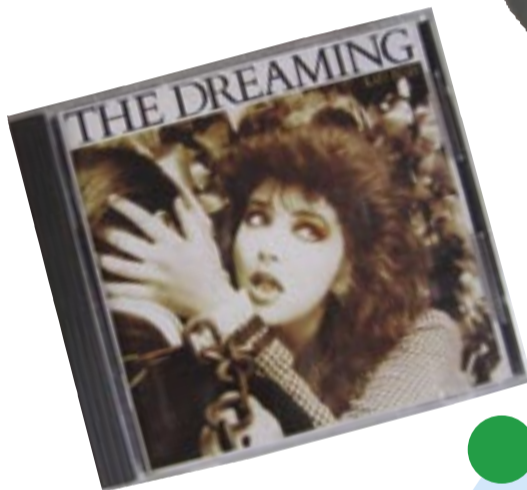
チャリティショップで 手に入るもの

ではここで、チャリティショップで買うことが可能なものの例として、『UK ジャック』ライターが、これまで実際にチャリティショップで購入した戦利品のいくつかをご紹介します。



MIDWINTER POTTERY の ミルクジャグ

日本でも人気の出てきている MIDWINTER POTTERY の中でも、ファッション・シェイプと呼ばれるシリーズ。1ポンド (Greenwich & Bexley Cottage Hospice)



KATE BUSH の CD

古いアルバムとはいえ、現在でも CD ショップで販売されているものも、チャリティショップでなら割安で購入できます。2.99ポンド (mind)

TOP SHOP の パンツ

購入時の段階で、1シーズン前のデザインでした。6.5ポンド (CANCER RESERCH UK)

